

林業士入門講座開催要領

1 趣旨

林業後継者育成対策等事業実施要領に基づいて実施する林業士入門講座の細部をこの要領で定めるものとする。

2 内容

森林・林業に関して地域の指導的な役割を担うために、必要な能力及び資質の向上をめざすものとし、研修の内容は別に定める。

3 対象

将来、地域林業の中核的人材としての活躍が期待される県内在住者であって、長野県林業士として地域林業の振興に貢献する意欲を有し、かつ、本講座の全日程に参加可能な者のうち、次に掲げる要件のいずれかを満たす者を対象とする。

- (1) 森林・林業セミナーを修了した者
- (2) 大学、林業大学校等で森林・林業に関する課程を修了した者
- (3) 森林総合監理士又は林業普及指導員の資格を有する者
- (4) 林業作業士（フォレストワーカー）3年目の集合研修を修了した者
- (5) 現場管理責任者（フォレストリーダー）研修を修了した者
- (6) 森林組合、林業事業体等の職員として5年以上所属し、県の補助事業等に係る実務経験を有する者
- (7) 市町村職員又は地域おこし協力隊員の林務担当として、3年以上の実務経験を有する者

4 募集人員

募集人員は、10名以内とする。

5 実施方法

- (1) 研修期間
16日間を基準として行う。
ただし、既に当講座において一部の科目を履修した者に対しては、科目の一部（履修済の科目）の履修を免除することができる。
- (2) 研修場所
林業総合センター、先進農林家、その他受入れ機関とする。

6 修了証の授与

林業士入門講座の受講状況を鑑み、林業総合センター所長が修了者と認めた者に対して、修了証を授与する。

なお、林業総合センター所長は林務部長に修了者名を報告する。

7 受講の手続

(1) 受講申込み

林業士入門講座を受講しようとする者は、下記①～④の書類を、地域振興局長に提出する。

地域振興局長は、意見書を添付して、林業総合センター所長へ受講申込書を提出する(別記様式-3)。

- ① 「林業士入門講座受講申込書」(別記様式-1)
- ② レポート課題「自分の長所と地域の強みを活かし、どのように地域リーダーとして活動していきたいか」1,600字程度
- ③ 活動の拠点となる地域の林業士会役員の推薦書(別記様式-2)
- ④ 森林・林業セミナー修了証(写し)

(2) 申込み期限

令和8年6月12日(金)の午前中までに、地域振興局へ提出する。

(3) 受講者の決定

森林・林業セミナーの受講状況及び提出されたレポート等を基に受講対象審査会で審査し、受講者を決定する。受講対象審査会については、別に定める。

林業総合センター所長は、所轄地域振興局長、本人及び本人の所属する団体等の長に受講の可否を通知する。

8 経費

講座に出席するための経費(旅費等)及び講座実施期間中の滞在経費(食費、宿泊費等)は受講者の負担とする。

9 その他

- (1) 受講者は、作業衣、作業靴、雨具、筆記具等受講に必要なものを持参する。
- (2) 研修中に発生した傷病等の医療費は受講者の負担とする。
- (3) 所長は、各研修の細部日程等を所轄地域振興局及び受講者へ通知する。

最終校正(令和8年5月25日)

(別記様式-1)

林業士入門講座受講申込書

令和 年 月 日

長野県林業総合センター所長 様

〒 (-)
住 所
フリガナ
氏 名
生年月日
電話番号

勤務先等
〒 (-)
所在地
名 称
電話番号

令和 年度林業士入門講座の受講を、開催要領を熟読した上で申し込みます。

【以下 勤務先担当者が記載 (※)】

上記の者が令和 年度の林業士入門講座を受講することに同意します。

令和 年 月 日

勤務先等所在地
名 称
代表者名

印

※ 自営の方、休暇等を取って参加する方は、勤務先等の代表者の同意は不要です。

(別記様式-2)

年 月 日

推 薦 書

(申込者氏名) を、林業後継者育成対策事業に基づく林業士入門講座受講生として推薦します。

林業士会 役職名

氏名

(※自書)

(別記様式-3)

文書番号
年 月 日

林業総合センター所長 様

〇〇地域振興局長

林業士入門講座申込書について

(申込者氏名) から提出された令和〇〇年度林業士入門講座受講申込書について別紙意見書を添付して提出します。

(別紙)

意 見 書

〇〇地域振興局長

(申込者氏名) を林業後継者育成対策事業に基づく林業士入門講座受講生として適当と認めます。